



## 町青少年育成町民会議を開催しました

令和8年度第1回町青少年育成町民会議が、6月4日(木)町生涯学習センターにおいて開催されました。

町民会議の委員は各分野から61名が委嘱され、そのうち高校生委員が6名おり、こんな取り組みをしてはどうかと意見を出し、活動に取り入れたりします。

令和8年度最重点取り組み項目は「読書活動の推進」です。町民会議には部会が3つあり、家庭教育部会では「早寝・早起き・朝ごはん」、青少年部会では「地域行事への参加」社会環境部会では「スマホ等の適切な使用」です。

町民一人ひとりが関心を持って取り組んでいきましょう!!



## ～インターンシップ教育事業～



第1回事  
前研修の  
様子です



社会教育課では、今年度もインターンシップ教育事業を実施します。

令和8年度は、7月26日～7月31日の予定で関西圏の企業や大学・官公庁(サントリー・近畿大学・大阪体育大学等)に訪問して、SDGsの取り組みや時代の変化に合わせた働き方について学べます。

また、6月13日に第1回事前研修会が行われました。成果発表は、令和9年2月14日に開催予定の「島われんきゃの祭典」で予定しています。

## 災害シーズン到来！事前に準備を

豪雨や台風などによる災害が発生しやすい時期になりました。災害は、いつ、どこで、どのような形で起こるかわかりません。

「自らのいのちは自らが守る」という意識を持ち、日頃から準備をしておくほか、災害発生時の対応について事前に家族みんなで話し合いましょう。

避難所までの経路や  
移動手段を確認しましょう

災害時の役割分担、連絡方法などを  
事前に家族で話し合いましょう

非常持出品を用意しましょう

最低3日分程度(できれば1週間分)の  
食料・飲料水や携帯ラジオ、懐中電灯  
などを用意しましょう。

特に離島は物流が滞ることが予想されますので、注意しましょう。



# 夏休み前に今一度確認！子どもたちのルールを知りましょう。

町教育委員会と町PTA連絡協議会、町校外生活指導連絡協議会では、校外生活指導に関する申し合わせを以下のとおり行っています。夏休みに入る前に今一度確認を行い、地域の皆さまも一緒になって、子どもたちの安心・安全を守りましょう。

1. 午前中は、友人宅などに行かせずに学習をさせましょう。
2. 子どもが出かける時には、必ず行先と帰宅時刻を確認しましょう。
3. 夜間外出や友人宅での外泊は、絶対にさせないようにしましょう。
4. 子どもだけで海や川に遊びや釣りに行かせないようにしましょう。
5. 公共施設では、他人に迷惑になるような使い方をしないよう、マナーをしっかり守らせましょう。
6. 決められた時間までに家に帰るようにさせましょう。

ルールを守って  
楽しい夏休みに  
しよう！



きちんと  
守ろう  
ね！



夏休み期間中の帰宅時刻	小学生	中学生	高校生
子どもだけ	午後6時	午後6時30分	午後8時※
地域行事等で保護者が一緒	午後10時	午後10時	午後10時

※ 事情がある場合のみ認めている帰宅時刻です。

## ～ジュニアリーダー活動～

5月31日（日）ジュニアリーダー活動（ていだまい隊）の総会を開催しました。

総会では、役員を選出が行われ、今後の活動内容について活発な意見交換がされました。

活動内容としては、ていだフェス・壁画アート・SNS

教室・ハロウィンイベントなど様々な意見がありました。

ていだまい隊は現在12名で活動しています。随時、仲間を募集しています！



## 町スポ少交歓大会を実施

5月30日・31日に徳之島町スポーツ少年団競技別交歓大会を実施しました。

各競技の結果は以下のとおりです。選手の皆さんお疲れ様でした。

○サッカー

- 1位：亀津サッカー
- 2位：東天城FC
- 3位：亀徳サッカー

○バレーボール

- 1位：亀津バレー
- 2位：亀徳バレー
- 3位：ウィングス・東天STARS

○軟式野球

- 優勝：亀津野球
- 2位：神之嶺ドリームス
- 3位：亀徳野球



## 7月行事予定



7月 2日(木) 大島地区大会及び地区スポ少交歓大会結団式

7月11日(土) 女性連フェスタ

7月15日(水) 地域学校協働活動本部会議

7月18日(土)～19日(日) 大島地区スポーツ大会(軟式野球・弓道)

7月25日(土)～26日(日) 地区スポ少交歓大会(軟式野球)

7月26日(日)～31日(日) インターシップ教育事業(関西圏)

7月のおはなしの時間 11日・25日



家庭教育支援チーム「つむぎたい」から一言

ひとりで抱え込まないで



大切な子育て。でも疲れてイライラしてしまうと子どもにも伝わってしまいます。ひとりで抱え込まず、周りの大人、また、時には子育て支援のサービスを借りていきましょう。

「子育ては親育ち」ははじめから上手はいかないのが当たり前です。親として子どもと一緒に学び成長していきましょう。

